



## 児童に教えられた支援の方法 …一人一人にとって「わかりやすいこと」の大切さ

運営委員会による「あいさつ運動」が毎週月曜日の朝、実施されています。「あいさつ運動」は昨年度も実施していましたが、今月の児童の様子を見てみると、しっかりとあいさつができる児童がとて増えました。

「しっかりとあいさつができる姿」は、相手の目を見て、相手に聞こえる声で行う姿（さらに笑顔だともっとうれしい。）だと思います。今年の運営委員会の取組は、「目を見て」「元気な声で」「笑顔で」と書かれたボードを手に持ちながら、あいさつを呼び掛けています。つまり、他の児童に「しっかりとあいさつができる姿」を一目でわかるようにしてくれました。

この様子を見て、運営委員会の児童に「わ

かりやすいこと」の大切さを教えてもらった気持ちになりました。ちょっとした工夫が児童の活動を主体的にし、児童に自信をつけさせていきます。

授業も同じです。難しい課題を、児童が考え、自分から取り組んでいくようにするには、教師がわかりやすく指導計画を立てていかなければなりません。先生方が遅くまで明日の授業の準備をするのは、そのためなのです。

児童に気付かせてもらった「わかりやすいこと」の大切さを学校全体の指導に生かしていきます。



## 個別面談について…家庭と学校が同じ歩調で

13日から個別面談が始まります。授業参観等が実施できなくなり、個別面談への変更・実施につきましては、御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。個別面談では、お子様の学校での様子をお伝えするばかりではなく、御家庭での様子なども教えていただき、今後のお子様の成長へつなげていきたいと思ひます。

お子様の成長は、学力の向上はもちろんですが、自分のことを自分で行う「自立」の面、友達と仲良くしたり、協力したりする「協調」の面、自分のよさや可能性に気付いたり、夢をもったりする「努力」の面などについても面談で話題にしてもらいたいと思ひます。

私はさらにお子様の成長には、「家庭と学校が同じ歩調で指導すること」が最も大切だと考えています。本校児童一人一人が学校へ来て「楽しかった」「うれしかった」「また、明日も来たい」と思えるように、本校教育活動を理解いただき、一緒にほめたり、励ましたり、時には悩んだりしながら、我が子の小さな成長を家庭と学校と一緒に喜び合える関係づくりができればと考えております。何かわからない点等がありましたら、面談の際におたずねください。

## 「紫陽花プロジェクト」を立ち上げました！

5年生児童に「紫陽花（アジサイ）プロジェクト」を立ち上げてもらいました。私は、「北浦小学校をもっと花のある学校にしたい」という思いをもっていました。そこで、さし木から自分の力で育てられる紫陽花の株づくりを5年生に提案したところ多くの児童が参加してくれることになりました。

本プロジェクトは、株ができるまでに約1年かかるため、新しい株から花が咲くことを確認できるのは5年生以下の学年です。5年生に取り組んでもらい、新しくできた紫陽花の株を学校の敷地内に植え、大人になっても、「あの紫陽花は僕たち・私たちが植えたんだよね。」と語れるようになってもらいたいという願ひがあります。今年うまく株ができれば、来年度、今の4年生がプロジェクトを引き継ぐこともできると思ひます。駐車場や体育館周辺が紫陽花の花に囲まれる日が来るのが今から楽しみです。



※ 本校ホームページもご覧いただき、本校児童の取組を御確認ください。